



[刺網を見せて魚の捕り方を説明する講師]

テーマ

Theme

漁師と一緒に琵琶湖の恵みを食べようプロジェクト

学校・園名

School name

大津市立逢坂小学校（5年生）

講師等

Lecturer etc.

滋賀県農政水産部水産課

実施日

平成27年10月26日

教科等

Subject etc.

総合的な学習の時間

授業

Class



今回の授業では水産課の水産業普及指導員と漁師の方を講師に迎え、琵琶湖に生息する魚を題材とした学習を深めました。

まず、水産課の職員から、琵琶湖には、およそ50種類の魚が生息しており、その内、ニゴロブナやビワマスなど16種類が固有種であること、しかし、この60年ほどで漁獲量が約10分の1にも減ったことを教えてもらいました。それは、ブラックバスなどの外来魚が増えたことや、魚の産卵のために必要なヨシが埋め立てられたり、水草が増え過ぎたりしたことなどによるとのことでした。

また、漁師の方からは、実際に使っている刺網（魚の通り道にカーテンのような網を仕掛けて魚をとる網）を見せていただきました。漁師は魚をとるだけでなく、増え過ぎた水草を取り除いたり、外来魚を減らす活動もされていることを話されました。それは、魚の住みやすい環境をつくり、琵琶湖の恵みである鮎やイサザ、ビワマスなどの魚をたくさんの人に食べていただきたいという願いがあるからだそうです。

琵琶湖の環境を守るために、子どもたち自らがどのような行動ができるか、課題意識を持って考える貴重な時間となりました。

感想

Impression

児童より Impression from Children

琵琶湖で魚をどうやってとるのかよくわかりました。琵琶湖の環境についてはこれまでから勉強してきましたが、もっと、琵琶湖について調べてみたくなりました。

学校より Impression from school

■ 広く琵琶湖の環境学習ということで細かい内容については講師の方にほとんどお任せして進めていただきましたが、児童が知りたい内容を教えてください、大変よい学習になりました。

■ グラフや写真があってわかりやすく、また、実体験を話してください、興味を持って児童は話を聞きました。

講師より Impression from lecturer

学校との事前打ち合わせがスムーズにできてよかったです。授業では、児童のみなさんが熱心に話を聞いて、メモをとったり質問をしたりしてくれました。

～メッセージ～

漁師は魚をとるだけでなく、琵琶湖へ行った時に琵琶湖の生物や環境の見張り番もしています。琵琶湖の魚をたくさん食べて、琵琶湖の環境を守るために、自分のできることを心がけてください。